

地区名（浄楽・錦林東山）地区幹事氏名（川見善孝）地域研修会開催報告書

開催年月日	令和元年6月15日 10時40分～11時40分		
開催会場	京都市立岡崎中学校 体育館		
出席者	保護司名	鞍谷秀郎・村上ますみ・鈴木美智子・久保優佳 松本加奈子・豊田貴志・川見善孝 7名	合計 300名
	関係団体名とその人数	全校生211名、教職員30名 保護者39名 京都市会議員1名、京都市教育委員会1名 浄楽少年補導委員5名 その他6名 293名	
テーマ	「深まる苦しみ ひろがる傷口」 ～ 亀岡交通事故の犠牲者遺族の思い～ 京都交通事故被害者の会 古都の翼・犯罪被害者遺族 中江美則氏		
研修内容	皆さんは、あの日の出来事を覚えていますか？ 2012年4月23日、無免許の少年が運転する軽自動車は、集団登校の子どもたちの列に突っ込んだ。そして、児童2名、付き添いの中江氏の娘、妊娠7ヶ月の幸姫（ゆきひ）さん、おなかの中の赤ちゃんが亡くなった、あの悲惨な交通事故が起こってもう7年が経ちました。近年、多種の交通事故・事件、幼い子どもたちが巻き込まれる悲惨な事故事件が起こる中、中江美則氏を岡崎中学校続校長先生に紹介、是非講演していただきたいと日程調整をしたところ、社会を明るくする運動の強調月間は7月ですが、6月15日の休日参観の日に開催してはどうかと提案があり、3限目1コマに開催することとなりました。 まず1分30秒で、当時を振り返ります。スクリーンを注視する来場者。1枚の映像を見た時、静まり返った体育館でどよめきが起こりました。		
			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 集会活動</li> <li>• 拠点啓発活動</li> <li>• その他</li> </ul>		

研  
修  
内  
容

- 集会活動
- 拠点啓発活動
- その他



そのあと、中江氏を紹介し講演がスタート。冒頭、舞台上のふたりのメッセージを紹介。その当時の等身大パネルで、足元にはその時履かれていた靴がそっと置かれている。右は、幸姫さんとおなかには、7ヶ月の愛鈴（ありん）ちゃん、左は、同事件で亡くなった、当時小学2年生の小谷真緒ちゃん。会場には真緒ちゃんのお父さん、他の被害者遺族の方2名も来ていただきました。

1本の電話から、事故と聞かされ病院に駆けつけた時の心情、最愛の娘、もうすぐ目にするはずだった新しい孫の命を理不尽にも奪われた父親の怒りの声、時には大きな声で心の叫びを訴えられました。出るはずのない情報が漏洩したこと、それにより誹謗中傷などの二次災害で、どれだけ被害者遺族が苦しめられてきたか。悲しみと苦しみを背負った瞬間から、自分がやらなければと気持ちを奮起させ、法を無視した無免許運転で殺されたのだから、事故ではなく事件だと、法と向き合い、法改正に結びつけてこられました。

ネットの誹謗中傷の犯人は中学3年生であったこと、子どもたちに自分に置き換えて周りの人を傷つけることのないようにと訴えられました。

私たちは、あらゆる情報をニュースやネットを通して理解していますが、それは一方通行の情報であり、双方向から発信の複数の情報を精査することもなく思い込みから理解してる風に過ぎないと思います。中学生には、少し重い内容の講演会になったかもしれませんが、中江氏の訴えはしっかり届いたと思います。

